



済生会富山病院報



ひるがの高原 牧歌の里 臨床検査科 山本富夫

目次



理念・基本方針	2	糖尿病患者会「くすのき会」	9
患者さんの権利宣言	3	新人自己紹介	10～15
院長あいさつ「新年度を迎えて」	4	前看護部長叙勲祝賀会開催される	16
事務部長就任のご挨拶	5		
「外来患者さんの待ち時間調査」の結果について	6～8		



社会福祉法人^{恩賜財団}済生会支部
富山県済生会
富山県済生会富山病院

理念

患者さん本位の心温まる
すぐれた医療の提供

基本方針

1. 地域中核病院として、地域に密着した信頼される患者さん本位の医療の提供に努めます。
2. 済生会精神に基づく保健・医療・福祉の総合的なサービスを目指します。
3. 医療水準の向上に努め、良質で安全な医療を提供します。
4. 患者さんの権利を尊重し、心温まる医療の提供に努めます。
5. 効率的で安定した経営基盤の確立に努めます。

患者さんの権利宣言

本院では“患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供”を基本理念に、患者の皆さまと協同して最良の医療を提供できるよう以下の権利を尊重します。

1 個人としてその人格を尊重される権利

患者さんはひとりの人間として、その人格・価値観などが尊重される権利があります。

2 質の高い医療を公平に受ける権利

患者さんは、適切で質の高い医療を、公平に継続して受ける権利があります。

3 十分な情報を知り、説明を受ける権利

患者さんはご自身が受けている医療について知る権利や診療情報の開示を求める権利があります。また、その内容や危険性、他の方法の有無と長所・短所などについて、患者さんが分かる言葉で、十分に理解できるまで説明（インフォームドコンセント）を受ける権利があります。



4 選択の自由と自己決定する権利

患者さんは、病院や医師を自由に選択し変更する権利と他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。また、分かりやすい説明を受け十分納得された上で、ご自身が検査や医療を選択する権利、あるいは拒否する権利があります。

5 プライバシーが守られる権利

患者さんは、ご自身に関する個人の情報やプライバシーが守られる権利があります。

患者さんには、私たちが良質で安全かつ効率的な医療の提供を実践するために、次のことをお願いします。

- ・ご自身の自覚症状、病歴や服薬歴などをできるだけ正確に伝えて下さい。
- ・診療、療養中におけるご自身の希望を遠慮せずに伝えて下さい。
- ・他の患者さんの診療や職員の業務に支障をきたすことがある場合には、ご協力をお願いすることがあります。





新年度を迎えて

富山県済生会富山病院 院長 利波 紀久

当院は「患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供」を基本理念とし、質の高い独自性のある医療を安全に提供することに努めています。急性期医療の指定病院として富山医療圏の輪番制第二次救急医療を担当していますが、急性期疾患のなかで脳卒中は患者数も多く、致死と重い後遺症が大きな問題となっています。発症後の速やかで最適な治療によって後遺症が軽くすみ回復も早くなることが判明しています。

昭和52年に脳卒中センターを開設し診療を行ってきた実績をふまえ、平成19年4月には県内では最初の脳卒中センター附設の脳卒中ケア病床(SCU)を設け24時間体制でいつでも脳卒中の診療を行なっています。発症から3時間以内の超急性期の脳梗塞に対してt-PA血栓溶解剤の静脈注射による治療や最先端の脳血管内治療を行なっています。

そのために脳神経外科医常勤7名、非常勤1名、神経内科医非常勤1名、循環器内科医常勤4名、看護師、理学療法士、診療放射線技師、臨床検査技師の医療スタッフを揃え、マルチスライスCT2台、核医学SPECT装置、最新のMRI機器と連続血管撮像・血管内治療装置を導入し救命救急隊のご協力のもとに亜急性期ならびに回復期病院との連携を図りながら診療しております。富山医療圏外や新潟県からも受診されており脳卒中関連の入院患者数は年間1000例を超えております。

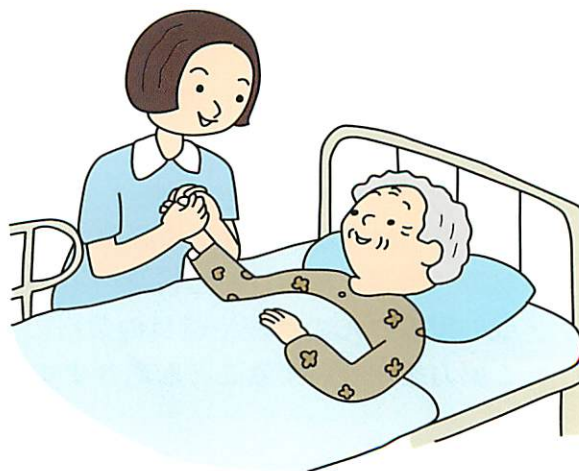
当院には16の診療科と消化器内視鏡センター、人工透析センター、健康管理センターがあり地域の総合病院の役割を担っています。しかし、当院で全ての診療が完結できるわけではありません。得意とする診療に専念し、「病院完結医療」から地域医療機関と

の連携による「地域完結医療」を進めています。

紹介された患者さんは治療が終われば紹介医にお返しするように、また、直接来院された患者さんも治療が終了すれば適切な医療機関を紹介致します。かかりつけ医の先生方、回復期治療の病院との連携を密にし、地域での連携医療に努めております。また、当院での治療が困難な疾患の場合には速やかにしかるべき専門病院を紹介致します。

県の委託事業による『新卒看護師にやさしいモデル病院事業』への取り組みや認定看護師育成への取り組みが評価され看護師の増員が可能となりました。平成20年4月より看護体制7:1を試行しております。ゆとりのある温かい看護を目指します。

全職員が医療人としての資質向上と専門的な知識や技術の修練のために院内外での研修を積極的に推進しています。また、職員の労働環境の改善を図り、より働きがいのある病院に致します。この取り組みが安全で質の高い医療の提供に繋がると考えますのでご理解をお願い致します。





事務部長に就任して

富山県済生会富山病院 事務部長 前田 明

富山県では、昨年度、新しい総合計画「元気富山創造計画」が策定されたところであります。

この計画は、少子高齢化の進行、人口減少時代の到来、グローバル化、情報化の一層の進展、国・地方に通じた財政状況の悪化、地方分権の進展など社会経済環境が大きく変化している現状を十分踏まえ、多数の県民の皆様の英知と膨大な労力が結集されたものであります。そして、概ね、20年後を見越し、およそ10年後の平成27年度を目標としているものです。

また、本計画は、3つの政策目標から成り立っております。

第一の政策目標は、「活力とやま」というものであります。知恵と技術を活かした産業の振興や観光の振興、交通・物流基盤の整備、活力あるまちづくりといったことを内容としております。

二つ目の目標は、「未来とやま」とするものであります。子育て支援、教育の充実や多彩な県民活動の推進、魅力ある地域づくりといったものであります。

そして、三番目の目標は、「安心とやま」とするものであります。健康づくりと医療、福祉の充実や豊かで快適な環境の保全、安全・安心な暮らしの確保といったことがらが掲げられております。

さらに安心とやまの最も基本的な目標は、医療の充実とされております。“誰もがけがや病気の状況に応じて、身近な地域で必要な時に安心して質の高い患者本位の医療を受けることができること”とされております。

こうした折に、このたび、済生会富山病院の職員としての発令をいただきました。医療をめぐる諸課題が山積している中で、済生会病院の職員として、県民の皆様の健康づくりと安心につながる業務に携われることは誠にありがたく、また、やりがいのあることだと思っております。誠に微力ではありますが、精一杯頑張っていくつもりでありますので、皆様方のお力添えを賜りたいと思っております。どうかよろしくお願いいたします。



平成19年度 「外来患者さんの待ち時間調査」の結果について

富山県済生会富山病院 診療部長 風間 泰蔵

○当院は、「患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供」を理念として、皆様にご満足いただける医療をめざして日々診療にあたっています。

○このたび、平成19年6月11日(月)より15日(金)の5日間にわたり、平成19年度の外来通院患者待ち時間調査を行いました。ここで、その結果の概要をご報告させていただきます。

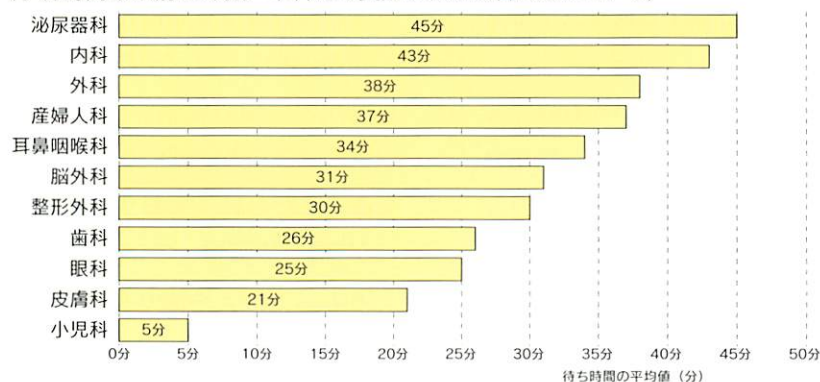
①調査患者数

6月11日から15日の間の延べ患者数は、初診281名、再診2,319名の合計2,600名で、昨年の調査時とほぼ同じでした。

②ひとつの科だけにかかっておられる患者さんが再診された場合の、 予約時間から診察までに要した時間 (図1)

予約時間前にかかられた方で、予約時間から診察開始までに要した時間を見えています。つまりこれが30分以上ということは予約時間帯より遅い診察になったことを示しています。

図1. 予約時間から診察までに要した時間
(予約時間帯以前に、再診・単科のみ受診された患者さんについて)



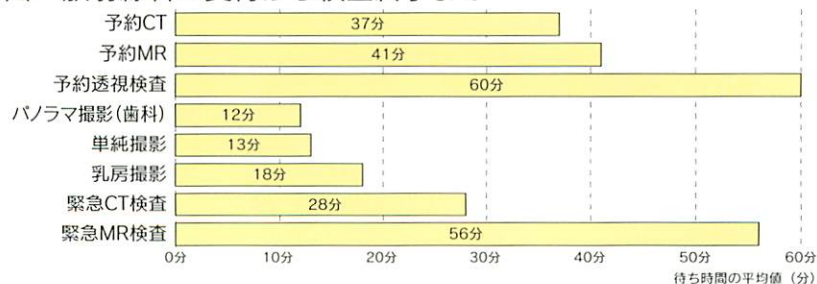
③至急の血液あるいは尿検査に要した時間

感染症検査が最も長く1時間9分。以下生化学を含む採血36分、糖尿病関連検査30分、凝固系検査21分、尿検査21分、血算血液像9分の順でした。

④放射線科の受付から検査終了まで (図2)

全ての検査でほぼ昨年と同様でした。

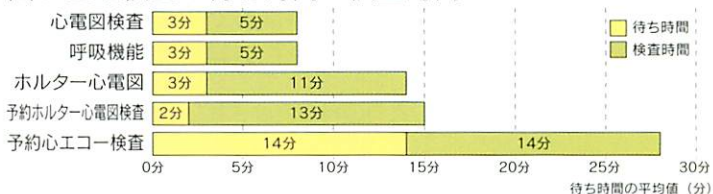
図2. 放射線科の受付から検査終了まで



⑤生理検査の待ち時間と検査時間(図3)

ほぼ昨年並み、もしくはむしろ改善されていると
考えてよい結果でした。

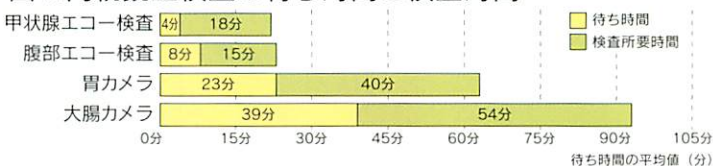
図3.生理検査の待ち時間と検査時間



⑥内視鏡検査の待ち時間と検査時間(図4)

腹部エコー検査の待ち時間は、8分で昨年とほぼ
同じでした。胃カメラ、大腸カメラは若干昨年よ
り改善していました。

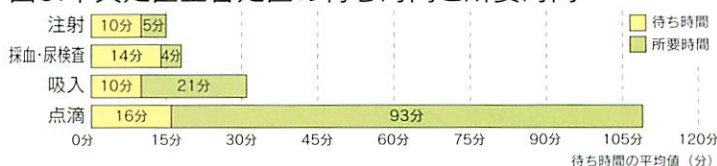
図4.内視鏡室検査の待ち時間と検査時間



⑦中央処置室各処置の待ち時間と所要時間(図5)

中央処置室での待ち時間はほぼ15分以内という
結果でした。

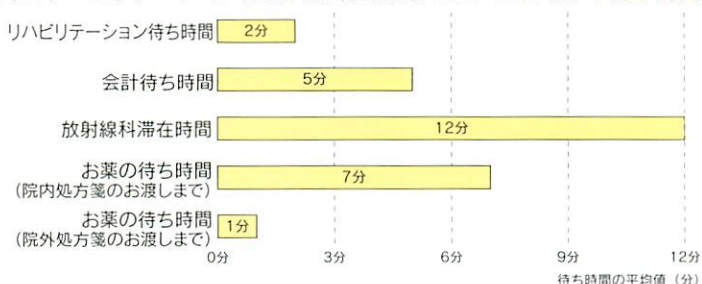
図5.中央処置室各処置の待ち時間と所要時間



⑧リハビリテーション、会計、放射線読影、および薬剤部の待ち時間(図6)

全般的に昨年より短いという結果でした。

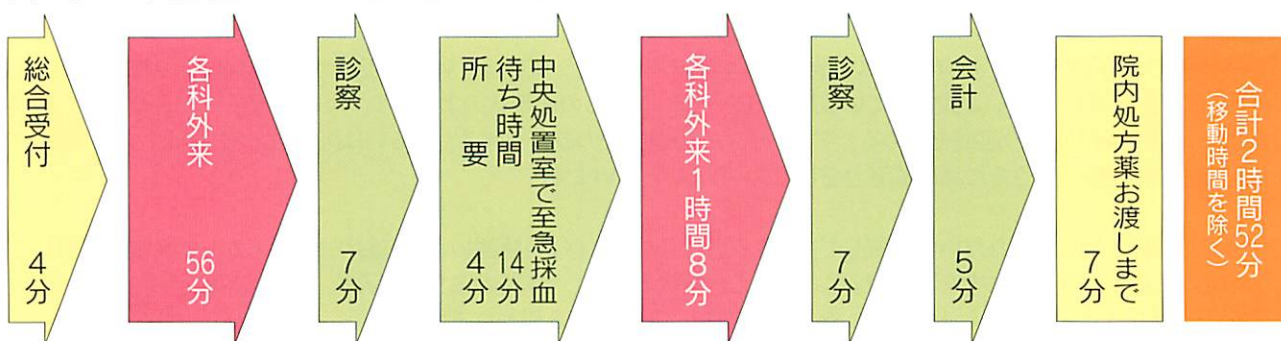
図6.リハビリテーション、会計、放射線読影、および薬剤部の待ち時間



⑨まとめ(1)(図7)

今回の調査で得られたデータから、初診でひとつの科を受診された場合の、各部署での待ち時間は図のようになります。
全滞在時間2時間52分、その3分の2が診療科の待ち時間になっていました。

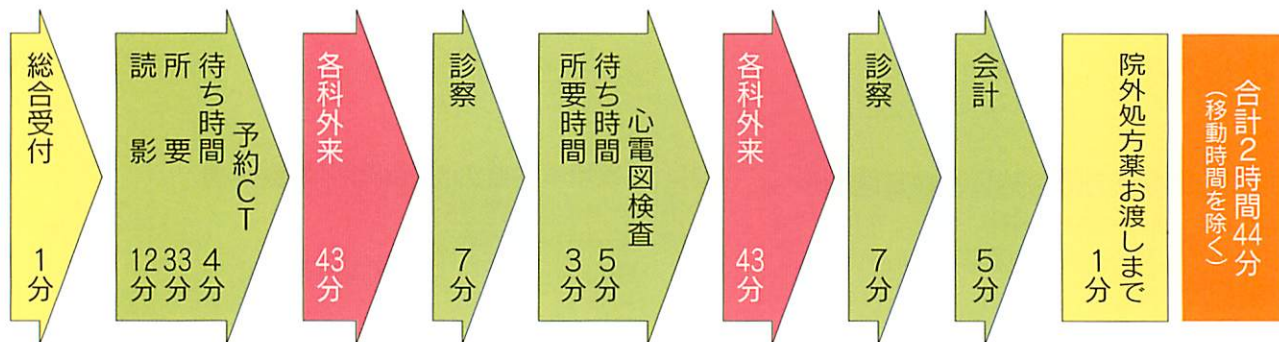
図7.まとめ(1)例・初診でひとつの科を受診された場合



⑩まとめ(2) (図8)

再診でひとつの科を受診された場合の各部署での待ち時間は図のようになります。仮に予約CTと心電図検査がある方と設定してみました。やはり全滞在時間の半分は診療科の待ち時間に占められることになっていました。

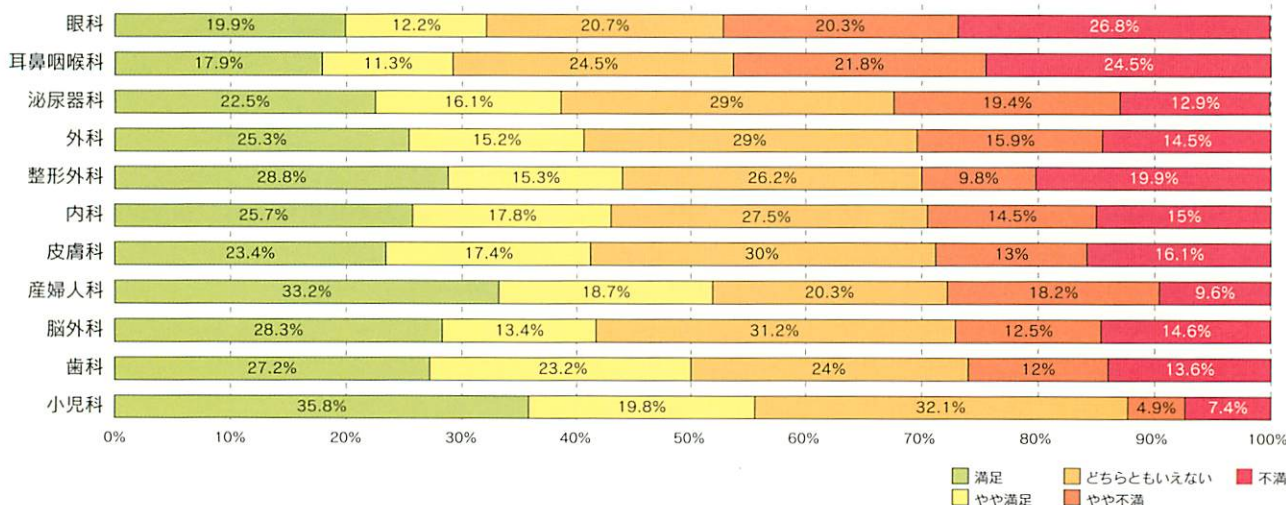
図8.まとめ(2)例・再診でひとつの科を受診された場合



⑪待ち時間に対する満足度〈各科別〉 (図9)

今回初めて待ち時間に対する満足度という項目を調査に設けてみました。これは各科別の満足度を示したものです。不満とやや不満を足したものが多い科の順に並べてあります。

図9.待ち時間に対する満足度〈各科別〉



⑫具体的にいただいたご意見

総数 682 件でした。そのうち「満足」など好意的なご意見は 111 件、残り 571 件がご批判でした。ご批判のうち具体的な部署に言及されていたご意見は総数 516 件でした。内訳では、診療科に関するものが 446 件 (86.4%) と圧倒的に多い結果でした。部署に関するもの以外のご批判もたくさんいただきましたが、「バスの本数が少ない」「体がつらくて待っているのに横になる場所がない」というご意見は早急に改善をはかるべきと考えられました。

⑬結論：

(1)各診療科での待ち時間は、昨年に比べて改善していませんでした。現在は、各科を受診される患者さんの数が、各々の科で「時間内に診療できる」と設定している患者数を上回っているのが現状のようです。今後、電子カルテの導入、職員の意識を高めて各科外来の連携を高める、アメニティや接遇面での改善を図る、あるいは医師数の増員を図っていくなどして、当院の診療能力をさらに高める努力をしてみたいと思います。

(2)せっかく当院を選んでいただいて通院してくださる患者さんには心より感謝いたしております。しかし、混雑を解消して、より重症の患者さんの診療に力を注いでいくためにも、病状の安定しておられる患者さんを、ご自宅のお近くの医院、診療所などへ紹介させていただく「逆紹介」をさらに推進していくべきと思われます。

(3)今回は、調査へのご協力まことにありがとうございました。当院へは、今後も定期的に同様の調査を行い、引き続き改善の努力をしてみたいです。今後ともなにとぞよろしくお願い申し上げます。

糖尿病患者会「くすのき会」

富山県済生会富山病院 内科部長 松本三千夫
内科医長 伊藤 みか

会員は89名です。県内には26の糖尿病支部会があり、第6番目の大所帯です。平成19年より毎年11月14日を「世界糖尿病デー」と指定し、富山城を青くライトアップしました。

平成19年10月から平成20年3月まで、NHKの朝の連続ドラマ「ちりとてちん」が好評でした。徒然亭草若師匠、草元、草々、小草若、四草、若狭一門が出演し、落語ブームが起きました。設立当初より「落語をやりたい」という中村会長の強い希望もあり、副会長大場氏のお世話で三遊亭良楽師匠をお迎えして、平成19年11月17日、研修ホールで落語会を開催しました。三遊亭円楽一門です。富山高校同窓会太郎丸会の司会を担当しており、富山県の有名人です。徒然亭若狭は、小浜市の若狭湾から芸名を付けられましたが、良楽師匠は、富山の薬売りから草冠を取って良楽と名付けられました。高座に上がった時の拍手の仕方、待ってましたと掛け声の掛け方等を教わりました。体型はメタボリックシンドロームです。減量についての落語をし、卯年で、メタボ友達です。中央病院脳神経外科で全身麻酔をかけられ、手術を受けた自件談をネタにしていました。

平成20年3月16日、名鉄ホテルで日本糖尿病協会富山県支部総会が開催されました。良楽師匠が

ゲスト出演し、全員で大爆笑でした。当日の朝刊で、立川志の輔氏がベトナムで落語を開催という記事があり、早速話のネタにしていました。ニューヨークに招待されたことはありませんが、銭湯で落語をしたことはあります。毎月第3金曜日午後7時から、総曲輪フォルツァで定期落語会があり、聞きに行く予定です。

3月29日、伊藤(岸田)先生の結婚式がありました。新郎とはメタボ友達です。内科亭一門による6人の寄せ集めの寄席があり、底抜けにおめでとございます。



平成19年度活動報告

H18	12/7	くすのき会設立総会	18:00～	研修ホール
H19	4/15	第1回くすのき会講演会 「糖尿病と共にいきる-患者と医療スタッフの共同戦線-」 富山大学附属病院 小林 正先生 参加人数 69人(会員51名 職員18名)	10:00～	研修ホール
	6/9	第2回くすのき会講演会 「糖尿病Q&A」 済生会富山病院 内科 伊藤 みか先生 参加人数 46人(会員31名 職員15名)	10:00～	研修ホール
	9/8	くすのき会昼食会 申込人数63名 当日参加人数57名(会員45名 職員12名)	11:00～13:00	研修ホール
	9/16	「立山」編集協力員打合せ	10:00～12:00	富山県民会館5階
	10/21	第12回富山県糖尿病ウォークラリー大会	10:00～15:00	太閤山ランド
	11/12～18	全国糖尿病週間		
	11/17	くすのき会落語会 三遊亭良楽師匠 参加人数 99人(会員65名 職員34名)	10:00～	研修ホール
H20	3/16	平成19年度会員交流会 申込人数23名(会員18名 職員5名)	11:00～14:00	名鉄トヤマホテル

船谷久美子済生会富山病院前看護部長 叙勲祝賀会盛大に開催される

富山県済生会富山病院 総務課主事 坂田 亜由美

済生会富山病院の前看護部長であり、現社会保険高岡病院看護局長を務めておられます船谷久美子さんが、長年の看護業務精励の功績により、昨年秋、瑞宝双光章を受章されました。この叙勲祝賀会が、去る1月19日、富山市内のホテルで、済生会北信越ブロック関係者を始め、県内医療・福祉関係者など160名の方々が出席され、盛大に開催されました。

最初に発起人を代表して、済生会富山病院、利波紀久院長の挨拶の後、富山県知事(代理)、武田幸子富山県看護協会長、宮崎幹也社会保険高岡病院院長ら多くの方々から祝辞をいただきました。

船谷さんは謝辞の中で「小学生のころ母親

が入院して不安な時、看護師さんから親身な励ましをもらったのが看護の道へ進むことになりました。これまでの多くの皆様のご支援があったからこそ、今日を迎えることができました。」と述べられました。

その後、済生会富山病院、辻政彦前院長の乾杯の発声により歓談に入り、なごやかな懇談の輪が多く広げられ、出席者は船谷さんのこれまでのご苦勞に対し、改めて敬服することとなりました。

最後に済生会高岡病院、館野政也前院長の万歳三唱により閉会しました。船谷さんの今後ますますのご活躍をお祈り致します。



済生会富山病院報

発行者
富山県済生会富山病院
院長 利波 紀久

【編集委員会】

石崎 宗一郎	和泉 千晴	表 寺 朱 美
風間 泰藏	加藤 智代	坂田 亜由
佐々木 正詞	下司 洋	西川 和良
堀田 裕子	南 沢 宏	山口 綾子
山本 富夫		

〒931-8533 富山市楠木33番1 TEL(076)437-1111 (代)FAX(076)437-1122
ホームページアドレス <http://www.saiseikai-toyama.jp/>
メールアドレス saiseikai-soumu@gaea.ocn.ne.jp